

【テーマ】

「羽島市役所旧本庁舎を巡る RC 造近現代建築の保存利活用について」

【趣旨】

2024 年 6 月、坂倉準三（1901-1969）が自らの故郷のために設計した「羽島市役所旧本庁舎（1959）」の解体工事が始められた。国内のみならず海外でも高い評価を受けた RC 造 5 階建ての建物は、瓦礫に帰した。この間、日本建築学会東海支部歴史意匠委員会では、数度に渉り「保存活用要望書（2022/3,2023/9）」「保存活用計画検討案（2022/3）」「羽島市役所旧本庁舎利活用の提案書(2022/9)」を提出し、建物の持続的利用を訴えた。今回のシンポジウムでは、上記関係者が継続して行なって来た同建物に関する調査結果について報告した上で、20 世紀中盤に建てられた RC 造建築の保存利活用の現状と今後の展望について討論する。

主 催 : 東海支部歴史意匠委員会

日 時 : 2025 年 2 月 20 日(木) 14:30~16:30(予定)

会 場 : 大同大学 X0202 室 (X(クロス)棟 2F)

名古屋市南区滝春町 10 番地 3

アクセス方法: <https://www.daido-it.ac.jp/outline/access/>

進 行 : 堀田典裕 (名古屋大学), 米澤貴紀 (名城大学)

記 録 : 和田 蒔 (岐阜工業高等専門学校)

プログラム: 支部長挨拶 14:30 - 14:35

武藤 厚 氏 (名城大学)

趣旨説明

堀田 典裕 氏 (名古屋大学)

14:35 - 14:40

「近現代建築の文化財としての保存と理念 (仮)」

14:40 - 14:55

中川 武 氏 (博物館 明治村・早稲田大学)

「岐阜県文化財大綱について」

14:55 - 15:03

三浦 彩子 氏 (名城大学)

「国立近現代建築資料館における図面資料調査に関する報告」

15:03 - 15:11

土屋 和男 氏 (常葉大学)

「インタビュー調査に関する報告」

15:11 - 15:19

清水 隆宏 氏 (愛知工業大学)

「デジタルアーカイブの検証と評価」

15:19 - 15:27

大井 隆弘 氏 (三重大学)

<小休憩>

15:27 - 15:35

討論「RC 造近現代建築の保存利活用について」

15:35 - 16:25

上記発表者委員ほか

総括

16:25 - 16:30